

令和5年度

自己点検・自己評価 報告書

社会福祉法人 周山会
富山医療福祉専門学校

令和5年度 自己点検・自己評価

I. 教育理念

* 評価基準：当てはまる4～当てはまらない1

評価項目	評価平均
1. 教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	3.6
2. 教育目標は卒業時の到達が読みとれるものになっているか	3.3
3. 教育理念並びに教育目標は必要に応じて見直されているか	2.9
4. 教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか	2.4

<取り組み内容>

教育理念「知識力、人間性、対応力で有用の人に」を踏まえ、教育目標「健康増進から看取りまでの広範囲で多様な健康問題に対応できる人材の育成」と三つの教育方針（「卒業時の称号（専門士・高度専門士）授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」、「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」、そして「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」が学校パンフレット、履修ガイドに示してある。これらは毎年、学生評価、外部評価、自己評価を受け、見直しを行っている。これらの情報は、体験入学や在校生へのオリエンテーションなどにおいて説明を行っている。

<課題と今後の対策>

教育理念・方針について今後は、外部への情報公開の点からもパンフレット、履修ガイドだけでなく HP 上でも公表する。

今後も学生評価、外部評価、自己評価を受け、教育理念並びに教育目標の見直しを必要に応じて行う。

II. 教育活動

*評価基準：当てはまる4～当てはまらない1

評価項目	評価平均
1. カリキュラムは教育目標が反映されているか	3.2
2. 定期的なカリキュラムの見直しがなされているか	3.1
3. テキストや教材は適切なものを選定しているか	3.2
4. シラバスが作成され学生に配布されているか	4
5. 授業の点検・評価が適切に実施されているか	3.1
6. 資格試験の合格率は目標に達しているか	2.5
7. 資格試験不合格者の対策は適切に行われているか	3.4
8. 評価は適切な方法で行われているか	3.0
9. 目標に到達しない学生に対し適切なフォローがなされているか	3.0
10. 単位認定、卒業の判定審査は適切に実施されているか	3.4

<取り組み内容>

教育目標、教育方針からカリキュラムが作成されており、次年度に向け検討を行っている。

アセスメントポリシー、学生授業評価をもとに評価がより適切に行われるよう検討を行っている。

資格試験の学修支援体制がより適切なものになるように次年度に向け検討を行っている。

健康管理に関するマニュアル、登校基準、対応フローチャートなどを国の感染症対策に応じて変更しながら、HPにて情報公開した。感染症予防の教育、健康管理体制の提供により安全・安心して学習が行える環境作りを行っている。経済的な問題だけでなく、学修が困難な学生に対する個別の学習相談・サポートを行っている。

<課題と今後の対策>

今後はアセスメントポリシーに基づいた評価、学修支援体制について検証し適正化に努める。

Ⅲ. 学生受け入れ

*評価基準：当てはまる4～当てはまらない1

評価項目	評価平均
1. 学生募集のための広報資料の表現・内容は適切か	3.4
2. 学生募集のための広報活動の方法・時期は適切か	3.0
3. 入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	3.3
4. 募集要項の内容は適切か	3.4
5. 学校説明会、体験入学の時期、内容は適切か	3.2
6. 入学者選抜の時期、方針、方法は適切か	3.1
7. 志願者状況、定員充足率は目標に達しているか	1.4
8. 中途退学の理由・実状を適切に把握しているか	3.3

<取り組み内容>

高校への訪問、体験入学、案内などでの広報活動は、感染症対策の見直しによりオンラインからハイブリッド、対面で開催できるようになってきた。入学試験では感染予防策を徹底し、全日程行うことができた。

<課題と対策>

入学志願者の減少、入学辞退などによる定員充足率の減少に対して、引き続き学校・学科の特徴、他にない特色、教育実績（進級率・卒業率・国家試験合格率・就職率）、給費特待生制度に関する広報活動を行っていく。

IV. 教職員組織

*評価基準：当てはまる4～当てはまらない1

評価項目	評価平均
1. 専任教員は設置基準を満たしているか	2.7
2. 専任教員1人あたりの担当科目時間数は適切か	2.6
3. 教職員の業務分掌は明確になっているか	2.9
4. 教職員の能力、業務内容の評価を定期的実施しているか	2.5
5. 教職員の資質向上のためのシステムは適切に構築されているか	2.3
6. 職員は業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか	2.6

<取り組み内容>

学科長を中心に学科毎に担当科目数、業務負担の確認を行い、課題等については、学科毎の教育会議にて検討、問題解決を図っている。

人員整備はもちろんのこと、教職員の健診・ワクチン接種のための休暇整備、感染症対策にて構築した在宅勤務体制を緊急災害対策でも活用している。看護休暇・介護休暇が時間単位で取得できるようになり、教育活動に支障がない範囲での社会支援活動、有給休暇の取得が行えるよう取り組んでおり、設定している目標値を着実にクリアしてきている。

<課題と対策>

資質向上のための教育研修、学会参加、研究活動について予算計上もなされ、推奨しているが活動には個人差が見られる。

ICTを活用した教育研修活動・教職員評価の推奨とICT活用のための支援整備を継続して行う。

ハラスメント対策のためのFDを開始する。

退職者に対する人員補充に務める。

V. 施設・設備等

*評価基準：当てはまる4～当てはまらない1

評価項目	評価平均
1. 実習設備は整備されているか	3.2
2. 講義室・実習室の管理は適切に行われているか	3.2
3. 学生が自学自習できるスペースを有しているか	3.3
4. 図書室は適切に整備されているか	3.7
5. 保健室は適切に整備されているか	3.4
6. 教育用機器備品は整備されており活用されているか	3.3
7. 教員室の管理は適切に行われているか	3.3
8. 事務室の管理は適切に行われているか	3.5

<取り組み内容>

教育に関する備品等については富山県学校施設設備整備費補助金を活用するなど、施設設備の修理・交換等を計画的に行っている。学生の共有スペースの利用については、感染症対策を行いながら通常通りの使用を再開した。学事などに関する情報伝達、学習でのインターネット活用のためのICT環境整備の拡張を行った。それに伴う情報セキュリティ対策としてEDRセキュリティの導入、常時監視システムを導入した。

<課題と対策>

今後も感染症対策を図り、学生一人ひとりが安心して共有スペースを利用できるように取り組む。

今後予想される設備の経年劣化による修理・交換（空調設備の修理交換、図書・PCの更新など）を計画的に行っていく。省エネと地域に根ざした教育機関としての取り組み（SDGs：全てのひとに健康と福祉を、質の高い教育をみんなに、働きがいも経済成長も）を推進して行く。

VI. 学生生活支援

*評価基準：当てはまる4～当てはまらない1

評価項目	評価平均
1. 奨学金等、経済的支援は整備されているか	3.7
2. 学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか	3.1
3. 健康管理に関する体制が整備・機能しているか	3.4
4. 各学校行事について、適切な支援を行っているか	3.0
5. 防犯・防災訓練の実施等、不法侵入・災害に対する整備は万全か	3.2
6. 進路活動に関する支援が整備され、機能しているか	3.3
7. 新たな求人開拓の努力をしているか	2.6

<取り組み内容>

周山会（法人）からの奨学金の貸与をはじめとする各種奨学金等の案内を行っている。また、給費特待生制度を設置し、経済的支援体制を整えている。学生相談、臨床心理士によるカウンセリングといった体制が機能している。感染症対策を行い、学習交流会は対面で開催した。避難経路など校舎内に掲示して、滑川消防署の方立ち合いのもと避難訓練実施している。進路活動の支援が機能し、就職率も高率を維持している。求人相談、依頼を受け臨床での教育支援を行っている。

<課題と対策>

今後も個々の学生に必要な支援体制整備と安心して利用・活用できるように説明を行っていく。

ハラスメントに関する対応体制強化のための研修を行っていく。

合理的配慮の提供について周知を図ると共に適切な対応を行っていく。

VII. 管理・運営

*評価基準：当てはまる4～当てはまらない1

評価項目	評価平均
1. 運営会議・教育会議等は適切に開催され、機能しているか	3.6
2. 就業規則などの諸規程は適切に整備されているか	3.6
3. 就業規則などの諸規程・学則等が定期的に見直されているか	3.5
4. 組織間、各部署間の連携は適切に図られているか	2.9
5. 消防計画、学校安全計画等は適切に整備されているか	3.3
6. 個人情報保護法を遵守しているか	3.4
7. ハラスメント（セクシャルなど）に対する防止・対応策が整備されているか	2.9
8. 財務諸表は適切に作成、管理されているか	3.3

<取り組み内容>

運営会議・教育会議等は定期的に行っている。また、迅速な対応・意思決定のために必要に応じて別途行われている。その他メール、LINEを活用し情報共有を図っている。教職員間のコミュニケーションにより、業務効率化、意識改革を行った結果、残業時間を大きく削減でき、休暇取得率が向上できている。また、就業規則などの諸規程・学則等は、これら諸会議で検討がなされ、社会労務士の監督の下、見直しが行われている。

滑川消防署、警察署と連携して消防計画、安全計画を整備し、それを実施できている。

ハラスメントに関する対応強化のための倫理規定改定、ハラスメント委員会を設置した。

<課題と対策>

今後も継続して適切な管理・運営について取り組んでいく。

各種ハラスメントに対する相談窓口の周知や相談の方法等について丁寧に説明を行っていく。